

R6 埼玉県学力・学習状況調査 正答率結果

		入間川中	狭山市	埼玉県	県との差	昨年
1 年生	国語	60.1	58.6	59.9	0.2	
	数学	55.1	52.3	53.5	1.6	
2 年生	国語	64.8	61.0	60.3	4.4	2.7
	数学	48.3	48.1	48.8	-0.5	5.4
	英語	61.6	60.1	61.9	-0.3	
3 年生	国語	67.4	67.2	66.4	1.0	2.8
	数学	59.2	59.9	57.5	1.7	3.3
	英語	56.6	55.0	54.6	1.9	-0.9

R6 全国学力・学習状況調査 正答率結果

		入間川中	埼玉県	全国	県との差
3 年生	国語	59	59	58.1	0.0
	数学	54	53	52.5	1.0

R5 埼玉県学力・学習状況調査 正答率結果

		入間川中	狭山市	埼玉県	県との差
1 年生	国語	66.5	63.8	63.8	2.7
	数学	61.8	58.5	56.4	5.4
2 年生	国語	63.0	61.4	60.2	2.8
	数学	62.3	62.8	59.0	3.3
	英語	52.4	53.2	53.3	-0.9
3 年生	国語	57.8	55.3	55.5	2.3
	数学	66.5	62.7	60.8	5.7
	英語	53.5	52.5	50.4	3.1

R5 全国学力・学習状況調査 正答率結果

		入間川中	埼玉県	全国	県との差
3 年生	国語	73	71	69.8	2.0
	数学	55	52	51.0	3.0
	英語	46	46	45.6	0.0

R 6 埼玉県学力・学習状況調査、全国学力・学習調査（3年生）の結果について

【1年生】

- ・国語、数学共に全体として、県や市の平均を上回っている。
- ・基本的な知識の問題の正答率が高い。
- ・国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の正答率が低い。
また、記述問題の正答率が低い。
- ・数学では、立体図形や情報、データ処理の問題についての正答率が低い。
- ・質問紙の調査では、学習をする必要性などはよく考えられているようである。
課題は、学習規律が定着していないこと。大人からも周囲の仲間からも認められる経験をしていないこと。学習をする意識はあるが、進め方がわからず、復習などができていないこと。

【2年生】

- ・国語は市や県の平均を上回っているが、数学と英語は市の平均は上回っているが県の平均はわずかに下回っている。数学は昨年度（1年生時点）、県の平均を大きく上回っていたが、今回は県の平均を下回る結果になっている。英語は、昨年度（1年生時点）では調査がなかったが、昨年度の2年生に比べると県平均に近い値になっている。
- ・国語は県や市の平均を上回っているが、記述式や文章の内容を捉える問題に課題がある。
- ・数学は知識・技能の分野に優れているが、思考・判断・表現の分野やデータ活用の領域に弱さがある。記述式の問題も課題である。
- ・英語は読むことは平均よりも上回っているが、聞くことや書くことが課題である。
- ・質問紙の調査からは、授業規律などは良く守られているが、計画を立てて学習をすることが苦手であること。周りの友達からはよいところを認められているが、自分自身ではよいところがあると思えず、将来の夢や目標も持っている生徒が少ないことが見受けられる。また、学校が楽しいや学級は落ち着いて学習する雰囲気があったかという設問も低かった。

【3年生】

- ・国語、数学、英語の3教科とも県や市の平均を上回っている。特に英語は、昨年度（2年生時点）では、県の平均を下回っていたのが、県平均を超える結果になった。国語と数学は、昨年度（2年時点）の方が、県や市よりも高い結果ではあった。学力の伸び率は、英語は県や市と同等、国語は県や市よりも低く、数学は県より低く市平均と同じで－1だった。
- ・全体的に、知識・技能の分野に優れ、思考・判断・表現の分野や記述問題に弱さがある。
- ・国語は「話すこと・聞くこと」や「書くこと」に課題が見られ、記述式の問題に弱い。また、基本的な設問の正答率が高いが難易度の高い問題や文章の内容や要旨を読み取る問題の正答率が低くなっている。
- ・数学は、知識・技能の分野に優れているが、思考・判断・表現の分野に弱さがあり、関数の領域に課題が見られる。
- ・英語では、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」は県や市の平均よりも高かった。
「話すこと」について、日常的な話題についての問題に課題があった。
- ・質問紙の調査では、ほぼ県や全国に比べて良い結果が出ているがスマホを使う時間は県や全国よりも長い。また進路なども控え、精神的に不安定になっている様子も伺える。